

■水稲、収穫後の除草。

～しつこい多年生雑草には秋冬防除を～

最近、クログワイ、ウリカワ、オモダカなどの多年性の難防除雑草が多くなってきています。これらの雑草が多い水田では、春から夏に除草剤を使用するだけでは防除が困難です。このため、除草剤や耕種的な対策を組み合わせた総合的な防除を行い、単年ではなく複数年、連続して取り組むことが重要です。



クログワイの塊茎
(全国農村教育協会「植調雑草大鑑」より)

●対策1：秋季の除草剤処理

除草剤：茎葉処理剤(ラウンドアップマックスロード、散布量：1 L/10a)

浸透移行性があるため、地下の塊茎にも効果があります。

※非選択性のため、一年生、多年生の区別なく効果があります。

時期：稲刈り後、早めに散布してください。

※雑草が生育している時に散布してください。地上部(茎葉)が枯れてしまっていると効果がありません。

ポイント：コンバイン収穫の場合、やや高めに刈り取りしておくことで雑草を確認しやすくなります。

●対策2：耕起による物理的防除

耕起：ロータリー耕を行い、地上部や根を切断することで塊茎の形成量を抑えることができます。また、塊茎は低温や乾燥に弱いいため、耕起を行い塊茎を掘り出すことによって枯死させることができます。

※冬期湛水など土壌が乾燥しないほ場では効果は期待できません。

時期：稲刈り直後～厳冬期



クログワイ



オモダカ

(全国農村教育協会「植調雑草大鑑」より)

峡南農務事務所 農業農村支援課
(峡南地域普及センター) 生産振興担当

055-240-4131